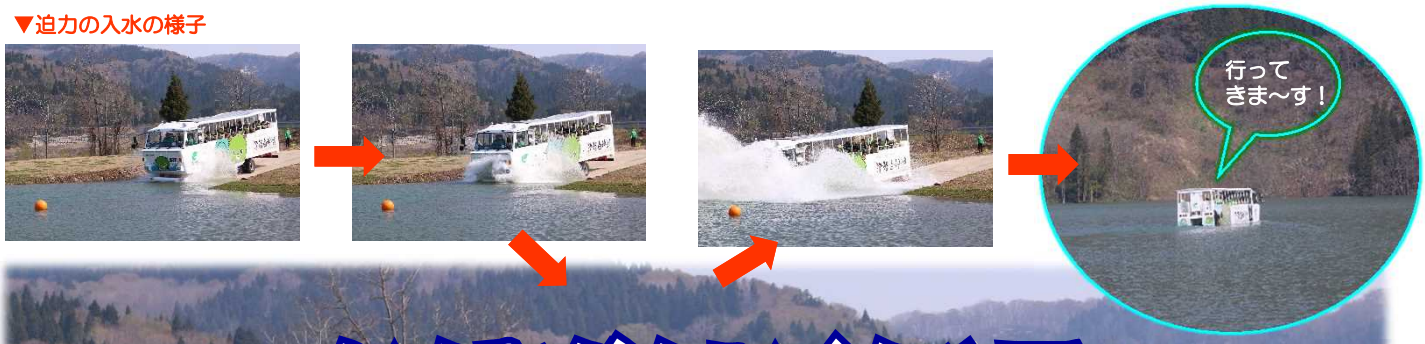
IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

岩木川ダム統管だより

013号
2018年
5月25日

IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

▼迫力の入水の様子



～ ニシメヤダムレイクツアー ～



水陸両用バス 『津軽白神号』

【水陸両用バス入水の瞬間：Let’s Splash！！】
平成30年4月28日（土）撮影

平成３０年４月２８日（土）水陸両用バス「津軽白神号」でダム湖を遊覧する『ニシメヤダムレイクツアー』がスタートしました。昨年は、ダム湖の水位の関係で約２ヶ月半の運休を強いられましたが、今年は新たに進入路を整備し、万全の体制で西目屋村が臨みます。運行初日となった２８日は、全便ほぼ満席の予約状況を察してか天候にも恵まれ、晴れ渡る絶好の青空の下、雄大な津軽白神湖の眺めにたくさんの観光客たちは見入っていました。



▲津軽白神湖を遊覧。雄大な景色に見とれています！



津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君

津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake

～“水陸両用バス”in 虹の湖　限定運行記念～

浅瀬石川ダム“ライトアップ&放流”



浅瀬石川ダム
イメージキャラクター
あっちゃんとパパ


▲平成30年5月13日（日）撮影

▲“ライトアップ&放流”を見に集まった沢山の来場者

【“浅瀬石川ダムレインボー”のライトアップと重なる“クレストゲート”からの放流】

平成３０年５月１２日（土）、１３日（日）の２日間、浅瀬石川ダムで、ライトアップ＆クレストゲート放流＆特別見学会を開催しました。今年は浅瀬石川ダムが竣工してから30周年を迎える節目の年になります。その節目の年を記念して、昨年から「津軽白神湖（津軽ダム）」で運行を開始した『津軽白神号（水陸両用バス）』を、「虹の湖（浅瀬石川ダム）」で期間限定運行しました。当日は天候にも恵まれ、全便満席となった水陸両用バスの解放された窓から、観光客たちはいつもと違う視点の眺めに、感慨深げに見入っていました。

“ライトアップ”と滅多に見られない“クレストゲートからの放流”を間近で見ることができる“特別見学会”では、2日間で約80名が参加し、スケールの大きさに圧倒されながらも、あちこちから歓声が沸き起こっていました。


▲「クレストゲート放流」の瞬間を近くから見た特別見学会


▲「クレストゲート放流」の瞬間を待ちわびる見物に来ていた皆さん


▲「虹の湖」を周遊する水陸両用バス『津軽白神号』

“浅瀬石川ダム”に来ていた人に聞いてみました！

Q.「浅瀬石川ダムを見てどうでしたか？」


▲水陸両用バス『津軽白神号』車内の様子


黒石市在住 ○○さん
A.普段見られないものが見れて良かった。上からの景色が良かった。


黒石市在住 名城さん
A.いつもの放流は1本(オリフィスゲート)しか流れていないので、クレストゲートからの放流は迫力があった。


平川市在住 清藤さん
A.(放流が始まって)水が出てきた時、始めは透明だったのに、途中から白くなってきてビックリした。


弘前市在住 溝江さん
A.普段見られないクレストゲートの放流が見られて感動した。


青森市在住 原田さん
A.今日は浅瀬石川ダムに沈んだ故郷を見に来ました。放流すばらしい。感動しました。

～“水陸両用バス”運行開始記念～

津軽ダム“ライトアップ&放流”


写真提供：ダムマイスター炭素さん

【5分ごとに変化する津軽ダムのライトアップと
飛沫が舞う迫力ある「コンジットゲート」からの放流】

平成３０年４月２８日（土）～２９日（日）の２日間、春の津軽ダム”放流＆ライトアップ“を実施しました。今シーズンの“ニシメヤダムレイクツアー（水陸両用バス）運行開始に合わせてのコラボ企画です。放流は、日本一の大きさを誇るコンジットゲートから６回行われ、最後の放流ではライトアップと重なり幻想的且つダイナミックな空間が演出されました。開催日当日は青空には恵まれましたが、強風が吹き荒れる中、約500人もの観光客が津軽ダムへ訪れました。つめかけた観光客たちは、スマートフォンや一眼レフで想い出を写真におさめ、夢のような時間を思い思いに過ごしていました。


▲両日6回行なった
「コンジットゲート」放流
（写真提供：ダムマイスター炭素さん）


▲ちょうど満開をむかえた
「白神が故郷橋パーク」の桜
（写真提供：ダムマイスター炭素さん）


▲「コンジットゲート放流」
◀　を見に来てくださった方々

“津軽ダム”に来た人に聞いてみました！

Q.「津軽ダムを見てどうでしたか？」

千葉県からお越しの **佐久間さん**



A.たまたま通りかかって立ち寄りました。美しいダムです。また来たいです。

神奈川県からお越しの **近江さん**



A.放流の迫力があった。白神が故郷橋パークからみた津軽ダムがとても良い。ライトアップ楽しみにしています。

東京都からお越しの **飯干さん**



A.すばらしいダムですね。ライトアップがかっこよすぎです。



おいらせ町からお越しの
木村さん

A.きれいで、大きなダムでした。施設もすばらしい！



弘前市からお越しの
工藤さん

A.ダムの大きさに、驚きました！これからも津軽平野を守ってください。



“赤十字レッドライトアッププロジェクト２０１８”
in 津 軽 ダ ム



赤一色に染まった　～ 津軽ダム ～

平成30年5月5日(土)・6日(日)の2日間、津軽ダムでは“赤十字レッドライトアッププロジェクト2018”に参加し、津軽ダム初の「レッドカラー」でダムの堤体を赤く彩りました。

“赤十字レッドライトアッププロジェクト”青森県内初参加ということもあり、多くの来場者が見物に訪れました。また5日には、日本赤十字社青森県支部の方々も視察に訪れ、美しい赤一色に染まった迫力ある津軽ダムに、大変感激していました。



▲真っ赤に染まった津軽ダムを写真におさめる来場者



▲青森県初の参加に視察に訪れた日本赤十字青森県支部の方々

★“レッドライトアッププロジェクト”とは？

5月8日は、「世界赤十字デー」です。赤十字創始者アンリー・デュナン生誕にちなみ、1949年に制定されました。紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、アンリー・デュナンと日赤創設者佐野常民氏が強く訴えた「人道」への理解を深めることを目的に始めました。

5月上旬には、この主旨に賛同する国内の歴史的建造物やランドマークとなる施設、企業等が参加し、赤い色で染まります。



～ ダムを見に行こう！ ～



春になり『ダム見学』の予約・お問い合わせが増えてきています。見学は、事前予約が必要となりますので浅瀬石川ダム、津軽ダムの各申込方法を確認のうえお申し込みください！

浅 瀬 石 川 ダ ム
【浅瀬石川ダム管理支所】

◆【地域防災センター　浅瀬石川ダム資料館】で受付けています。
見学時間　平日　９：00～16：00
（土・日・祝日も可能です）
◆１人から見学可能。専門スタッフが同行し説明します。
◆堤体内（監査廊）を見学。見学料は無料です。
◆見学の申し込みは、**1週間前まで**にご連絡ください。
◆**電話・メール**で、見学を申し込みください。
◆詳しくはホームページ、お電話でご確認ください。
TEL　0172-54-8782
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/aseishi/



津　軽　ダ　ム
【岩木川ダム統合管理事務所】

◆岩木川ダム統合管理事務所で受付けています。
見学時間　平日　９：００～１７：００
（土・日・祝日は行っていません。）
◆団体を対象とした見学。事務所担当者が同行し説明します。
◆堤体内（監査廊）を見学。見学料は無料です。
（ダム天端、展望所は一般解放しています。８：00～１８；00）
◆見学の申込は、**2週間前までに**ご連絡ください。
◆申込方法は、**[岩木川ダム統合管理事務所HP]**から、津軽ダムの**「ダム見学申込書」をダウンロード**していただき必要事項を記入のうえ、メール又はFAXでお送りください。
◆詳しくはホームページ、お電話でご確認ください。
TEL　0172-85-3035
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/



● 編　集　後　記 ●

４月２８日に始まった今シーズンの“ニシメヤダムレイクツアー”の運行も好調のようで、道の駅“津軽白神”の駐車場が混雑している様子を見ると何となく安心する今日この頃です。津軽ダムも管理２年目を迎える今年は、色々な意味で軌道に乗せていかなくてはいけない重要な年だと感じています。ダム見学に関しても、いろいろ試行錯誤しながら、新しい試みにチャレンジしていきたいと思っています。浅瀬石川ダムも今年は竣工から３０周年、岩木川改修１００周年と、いろいろ節目の年になりますが、順調に進むことを願うばかりです。（船水）

編集・発行
国土交通省　東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
TEL　0172-85-3035
FAX　0172-85-3061
岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/